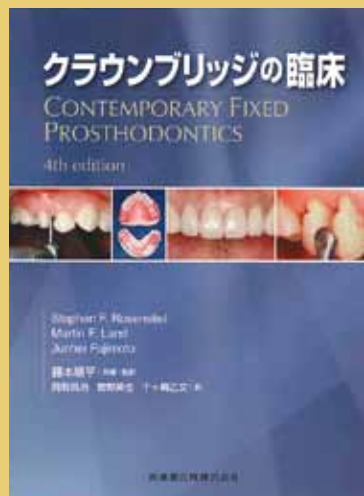


平山 洋●

2010年6月に医歯薬出版より、待望の『クラウンブリッジの臨床 原著第4版』が出版された。本書は2006年にアメリカのMosby社から出版された『Contemporary Fixed Prosthodontics Fourth edition』の日本語版である。日本語訳は原文に忠実であると共に、できるだけ直訳の読みにくさがないように配慮されている。原著はアメリカで数少ない総説的なFixed Prosthodonticsの本であり、アメリカでは多数の歯科大学で使用され、とても人気の高い教材である。藤本先生に励まされ、渡米してから早くも24年が経とうとしているが、藤本先生が著者の一人である本書が出版されて以来、筆者はいつも鼻高々で、「私があのFujimotoの弟子である」と言って他の者に自己紹介をし、会話に入る。筆者が編集するアメリカ補綴医学会（ACP）発行の『アメリカ補綴歯科専門医試験 Study guide12版』にも必修学習図書として記載されている。

本書はクラウンブリッジの基本から応用までのほぼ全てを網羅しており、補綴を学ぼうという歯学生、大学院生、そして一般歯科医に最適である。さて本書の構成は四つのPartに分けられている。Part Iでは審査、診断、治療計画の作成そして咬合、歯周組織について、さらに補綴治療計画には欠かせないPhase one therapyについて網羅されている。審査の項目ではPDI (Prosthodontics Diagnostic Index) に関して記されている。これは現在、ACPが普及に努力していてアメリカの全歯科大学への導入に力をいれている。ちなみに我がタフツ大学補綴大学院では、全ての症例検討会に使用する事が義務づけられている。Part IIは臨床術式についてであり、歯冠形成の原則、修復物ごとによる形成法、根管処置歯の修復治療、インプラント支持の固定性補綴、tissue managementと印象採得、そしてさいごに種々の固定性暫間修復の方法、材料、術式に関して詳細に述べられている。Part IIIでは技工物の作製について、各種の技工物の具備すべき条件、材料学、作製法などが幅広く述べられている。また、歯科技



クラウンブリッジの臨床 原著第4版
藤本順平 共著・監訳／岡野昌治・菅野英也・千ヶ崎乙文 訳
A4判 944頁 定価 39,900円（本体 38,000円＋税5%）
医歯薬出版株式会社刊

工士とのコミュニケーションや色の再現法、審美性に関して触れられている。さいごのPart IVでは最終補綴物の臨床術式についてであり、試適評価と仕上げ、合着用セメントと合着手順に関して、加えて最終章では術後管理について記されており、豊富な症例で締め括っている。

本書の特徴は、それぞれの章末にStudy questionsを設け、各章の理解度を確認できることである。また各章末の引用文献は十二分に網羅されており、大学院生や補綴医にとってはとても有用である。この本を十二分に読みこなせば、毎日の臨床に必要なFixed Prosthodonticsの基礎と応用は十分に身に付くと考えてよいと思う。

Hiroshi Hirayama D.D.S.,D.M.D.,M.S.,F.A.C.P.

Professor Division Head Postgraduate Prosthodontics
Department Prosthodontics and Operative dentistry
Tufts University School of Dental Medicine
Director Graduate and Postgraduate Prosthodontics
Director Advanced Education in Esthetic Dentistry
Director Advanced Dental Technology and Research